

北電

第93期年度報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

CONTENTS

目次

- 2 株主の皆さまへ
- 3 経営効率化への取組み
- 4 志賀原子力発電所2号機における
雨水流入事象の原因と再発防止対策について
- 5 志賀原子力発電所2号機
新規規制基準適合性に係る審査会合について
- 6 小売全面自由化への対応
- 8 事業の概況
- 10 財務・株式データ
- 11 株主information



建設工事中の富山新港火力発電所LNG1号機タンク



電柱に登って行う点検作業の様子

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申し上げます。

平成28年度の北陸経済においては、個人消費において一部に鈍さがみられたものの、北陸新幹線による交流人口増加の効果もあり、回復を続けました。

このような中、当期の連結収支につきましては、小売販売電力量の増加に加え、経費全般にわたる徹底した効率化に努めたものの、修繕費の増加、退職給付費用の増加および水力発電量の減少などにより、減収減益となりました。期末配当につきましては、厳しい収支状況や財務状況などを総合的に勘案し、誠に遺憾ながら、1株につき10円とさせていただきます。

電気事業をめぐる環境は、小売全面自由化に伴う競争激化に加え、電力システム改革貫徹のための一連の制度改革など、不連続な変化の真っ只中にあります。このような経営環境の中、当社グループは、以下の諸課題にスピード感を持って対処してまいります。

まずは、志賀原子力発電所の早期再稼働に向けた取組みです。本年3月の新規規制基準への適合性を確認する審査会合では、敷地内断層の抽出から検討対象断層の絞り込みまでの説明を行いました。引き続き、審査会合等に対する確実な対応を行い、敷地内断層は「将来活動する可能性のある断層等」ではないという当社評価の妥当性について、できるだけ早く理解が得られるように努めてまいります。

また、安全性向上工事につきましては、志賀原子力発電所の安全性をより一層向上させる観点から、他社審査状況等も踏まえ、工事内容の充実を図っております。

引き続き、安全性向上工事を着実に進め、今後の適合性確認審査に的確に対応し、地域の皆さまのご理解のもと、志賀原子力発電所の早期再稼働を目指してまいります。

小売全面自由化への対応につきましては、サービス会員制度「ほくリンク」のサービス拡充を図るとともに、営業部門と、新たに設立した北陸電力ビズ・エナジーソリューション株式会社が一体となって活動し、営業力の強化に努めてまいります。域外販売についても、販売拡大に向けて積極的な営業活動を展開してまいります。

また、保有する経営資源を最大限活用し、LNG販売を含めた総合エネルギー事業を展開するとともに、グループ各社の競争力強化に向けた取組みにより、グループ全体の収益性を高め、持続的成長を目指してまいります。

さらに、平成32年4月からの送配電部門の法的分離に対しても、業務の中立性・透明性確保と最適な事業運営の両立に向け、着実に準備を進めてまいります。

当社グループは、今後も北陸地域に根差した企業として、地域とともに発展できるよう、これらの取組みを着実に進め、皆さまから「信頼され選択される北陸電力グループ」を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、当社グループに対し、なお一層のご理解とご支援を賜わりますよう、お願い申し上げます。



平成29年6月

代表取締役会長 久和 達
代表取締役社長 社長執行役員 谷井 豊

経営効率化への取組み

当社は、志賀原子力発電所の停止に伴う燃料費増加など厳しい経営環境に対処すべく、従来から人件費の削減や石炭火力発電所の定期点検工程の見直し、諸経費の削減等の効率化に取り組んでまいりました。

平成28年度の経営効率化の取組み

平成28年度からは、従来からの取組みに加え、資材調達価格の7%低減をはじめ、役員報酬減額幅の拡大等、更なる効率化に取り組んでまいりました。

■ 平成28年度の取組み内容

	内容
従来からの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 業務効率化等による人件費の削減 ◇ 施策の優先順位明確化による諸経費全般の削減 ◇ 火力発電所定期点検工程の見直し、低コストな近距離ソース炭の利用拡大等による燃料費の低減 ◇ 供給余力を最大限活用した卸電力取引所への販売
更なる取組み	
資材調達価格	◇ 仕様および工法の見直し、多様な調達方策の活用による7%低減
人件費・諸経費等	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 役員報酬の減額幅拡大(平成29年2月～)、従業員賞与の減額 ◇ 諸経費の更なる削減



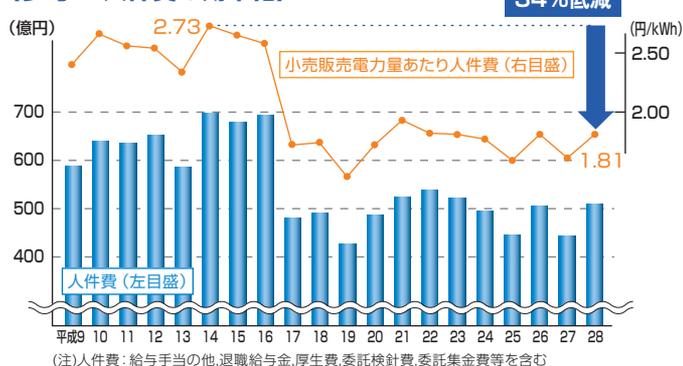
火力発電所定期点検工事の様子

平成29年度の経営効率化の取組み

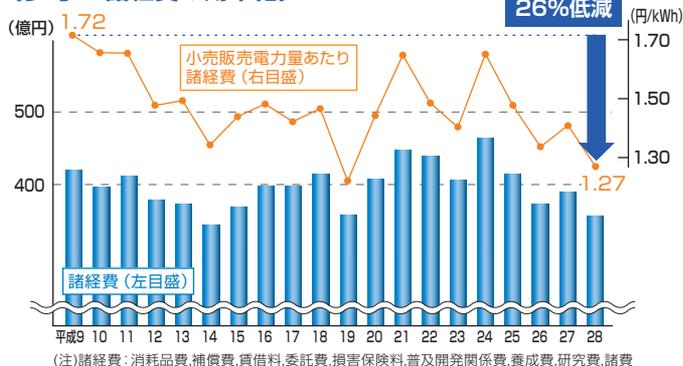
厳しい収支状況に対処していくため、社長を委員長とする「経営基盤強化委員会」を設置し、既存施策の拡大や新規施策の実施等、効率化に向け聖域を設けず取り組んでおります。

参考データ

〈参考1：人件費の効率化〉



〈参考2：諸経費の効率化〉



志賀原子力発電所2号機における雨水流入事象の原因と再発防止対策について

志賀原子力発電所2号機で発生した原子炉建屋内への雨水流入事象につきましては、地域の皆さまに大変なご迷惑とご心配をお掛けしており心からお詫び申し上げます。

当社は本事象を非常に重く受けとめ、**原因を根本まで追究・分析**したうえで、**再発防止対策を策定**し、その**報告書を平成28年12月に原子力規制委員会に提出**しました。

現在、**再発防止対策に係る活動を確実に実施**しております。また、**原子力発電所の活動全般を監視する組織を新たに設置**いたします。

当社は今後もより一層**自覚と責任を持って志賀原子力発電所を運営**してまいります。

事象の概要

- 平成28年9月28日、志賀原子力発電所2号機の原子炉建屋内に約6,600ℓの雨水が流入しました。
- 雨水流入により一部の電気設備が漏電しましたが、重要な設備への影響及び外部への放射能の影響はありませんでした。

主な直接原因と再発防止対策

- 原子炉建屋貫通部の水密化が未実施だったため、隙間から水が入らないように貫通部の止水処理を速やかに実施しました。(写真①)
- トレンチ内排水槽の水位が高いことを示す警報が鳴ったのに、上蓋が重くて開けられず、水位を確認しなかったため、上蓋を人力で開閉できるものに変更しました。(写真②)

①貫通部の水密化



(水密化前)



(水密化後)

②開閉所共通トレンチ上蓋



(変更前)



(変更後)

背後にある要因への対策

- 背後にある要因の対策として「**問い直す姿勢**」の強化や「**迅速に対応する意識**」の向上等に取り組んでまいります。
- また、志賀原子力発電所の更なる安全性向上のために、再発防止対策を含む原子力発電所における活動全般を**監視する組織を新たに設置**するなど体制整備を行います。



「問い直す姿勢」の強化
(職場討議の様子)

志賀原子力発電所2号機 新規制基準適合性に係る審査会合について

平成29年3月10日に志賀原子力発電所2号機の新規制基準への適合性を確認する審査会合が開催され、敷地内断層の活動性評価にあたっての対象とすべき断層の選定について審議されました。

敷地内における主要断層の選定について

- 当社はこれまで評価してきたシームに加え、シームよりも古い時代に活動した可能性のある部分も含めて評価することとしました。

この評価において、重要施設のある海岸部も含めて抽出した結果、陸域10本、海岸部11本の合計21本となりました。

以後、シームの周辺にある相対的に古い時代に活動した可能性のある部分も含めて「断層」と呼びます。

- これらの断層の新旧関係や規模を踏まえ、上記21本のうち、検討対象とする主要断層として「S-2・S-6」(敷地内)、「K-2」「K-3」(海岸部)を選定しました。



- これに対し原子力規制委員会からは、「主要断層の選定において、断層の新旧関係についてのデータが不足しており、確実度が落ちる」等の指摘がありました。

今後の審査に向けて

- 今回いただいたコメントを踏まえ、断層の新旧関係とは別に、断層の規模や運動方向、重要施設の直下にあるか否か等も考慮して主要断層の選定を行い、活動性がないことを説明してまいります。
- 今後のヒアリングや審査会合において、より詳細なデータに基づきしっかりとご説明することにより、必ず敷地内の断層の活動性がないことを認めていただけるものと確信しております。

小売全面自由化への対応

お客さまから選択いただくための取組み

厳しさを増す競争環境の中で、お客さまニーズを踏まえたサービスの充実や、お客さまのエネルギーに関するご要望に、迅速かつ的確にお応えしていくことで、引き続き当社を選択いただけるよう努めてまいります。

家庭分野

〈サービス会員制度「ほくリンク」〉



●「ほくリンク」の意味

北陸に根差す企業として、お客さまや地域とつながりたい
(=リンク)という思いをこめました。

くわしくはWebで

ほくリンク

検索



ポイントサービス

会員入会、電気料金・
使用量のWeb確認、
キャンペーン応募等で付与
地域の商品券等と
交換できる



電気料金・使用量 照会サービス

Webで電気料金・使用量の確認や、
よく似たご家庭との比較ができる



メールマガジン

暮らしに役立つお得で
便利な情報をお届け



出かけて節電

夏季や冬季の平日に地域のお店で
使える「お得なクーポン」をご提供



お得ネット

地域の名産品や人気商品を
Webで購入できる



エルプラ de カルチャー

エルプラザで各種教室開催や
趣味の作品展示



お困りごと解決サービス

家電製品の修理、鍵・窓ガラスの
トラブルへの緊急駆け付け等



省エネ診断サービス

環境・お財布にやさしい
電気の使い方をご提案



電気給湯器 点検サービス

電気給湯器の点検や
上手な使い方をアドバイス



おうち割 北陸電力 でんきセット

Tポイントが毎月最大300ポイント
たまる(ソフトバンクユーザー向け)



〈電気の使い方を工夫することでお得になる電気料金メニューの推奨〉

◇節電とくとく電灯 ●ほくリンク 会員向けメニュー

- ・当社が予めお知らせする日時(7月～9月の13時～16時)に節電すると、その実績に応じて電気料金を割引
- ・加入対象を従来の60アンペアまたは6kVA以上から30アンペア以上または6kVA以上のお客さまに拡大(平成29年6月1日～)

◇くつろぎナイト12

- ・夜間および土日祝日の使用量が多いお客さま向けにお得な夜間時間帯を12時間(20時～8時)に、土日祝日は平日昼間に比べお得に設定

◇節電とくとくプラン ●ほくリンク 会員向けメニュー

- ・「くつろぎナイト12」専用の割引特約。「節電とくとく電灯」と同様に、節電実績に応じて電気料金を割引

〈省エネ等の最適提案・コンサルティング活動〉

- ・省エネ診断を通じて、すぐに取り組める運用方法の改善から設備の更新まで、具体的で実効性のあるエネルギーコンサルティング提案活動により、お客さま満足度を向上



工場での省エネコンサルティング

〈トータルソリューションサービスの提供〉

◇電気とLNGを組み合わせたエネルギーサービスの提供

- ・グループ企業との連携を強化し、お客さまの省エネ・省コスト・省CO₂ニーズにお応えし、LNG供給と受入基地の施工・保守を一体的に提案



LNG配送用タンクローリー

◇新規子会社(北電BEST)と一体となったソリューションサービスの推進

- ・平成29年3月、エネルギーソリューション事業を展開する新規子会社「北陸電力ビズ・エナジーソリューション(株)」(北電BEST)を設立
省エネ設備の設計・施工から運転管理までのワンストップサービスを提供可能とし、お客さまニーズによりスピーディーかつ確実に対応



【社名・ロゴマークに込めた思い】
お客さまのBESTな提案になるよう
私たちはBESTを尽くし
お客さまのBESTパートナーになります

首都圏エリアでの電力販売

〈ご家庭向け電気料金メニュー〉

- ・首都圏エリアのご家庭向け電気料金メニューとして、「北陸かがやき契約」の販売を開始
平成29年1月に第一次販売分の1,000件に到達。好評につき販売を継続

電気料金メニュー
「北陸かがやき契約」

単身のお客さまから、ご家族の多いお客さままで、
幅広くメリットがあります。

首都圏エリアで
好評販売中

当社ホームページでご案内しております
<http://www.rikuden.co.jp/>

北陸電力

検索

〈法人のお客さま向け電気料金メニュー〉

- ・首都圏エリアの低圧の法人お客さま向け電気料金メニューとして、平成29年4月から「北陸Bizかがやき契約」および「低圧電力」の販売を開始
- ・首都圏エリアの特別高圧・高圧の法人お客さま向けにも販売中

事業の概況

(単位:億kWh)

	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 (A)-(B)	対 比 (A)/(B)
販売電力量(小売)	281	275	6	102.1%

(注) 億kWh未満四捨五入

(単位:億円)

	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 (A)-(B)	対 比 (A)/(B)
売上高(営業収益)	5,425	5,445	△ 19	99.6%
営業利益	105	381	△ 275	27.6%
経常利益	20	280	△ 260	7.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 6	128	△ 135	-

(注) 億円未満切捨

収支の状況

当年度の我が国経済は、設備投資に持ち直しの動きがみられたほか、良好な雇用環境の継続などにより、緩やかな回復基調が続きました。また、期の後半に入り、海外経済の緩やかな回復を背景として輸出や生産が持ち直しました。

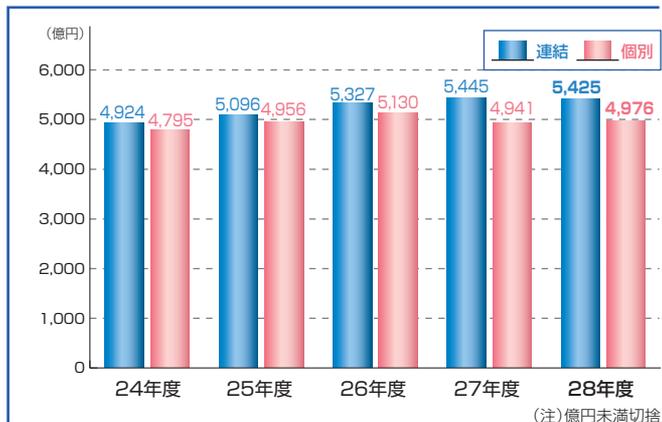
北陸地域の経済は、個人消費において一部に鈍さがみられたものの、北陸新幹線による交流人口増加の効果もあり、回復を続けました。

このような経済情勢の中、当年度の連結収支につきましては、売上高(営業収益)は、電気事業において小売販売電力量の増加や再生可能エネルギー発電促進賦課金が増加したものの、燃料費調整額が減少

したことに加え、電気事業以外における請負工事等の受注の減少などから、前年度に比べ19億円減の5,425億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は9億円減の5,465億円となりました。

また、経常利益は、電気事業において、資材調達価格低減をはじめ経費全般にわたる徹底した効率化に努めたものの、高経年設備等に係る修繕費の増加、金利低下に伴う退職給付費用の増加および水力発電量の減少などにより、前年度に比べ260億円減の20億円となりました。これに、湯水準備金を取崩し、法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損益は前年度に比べ135億円減の6億円の損失となりました。

■売上高の推移



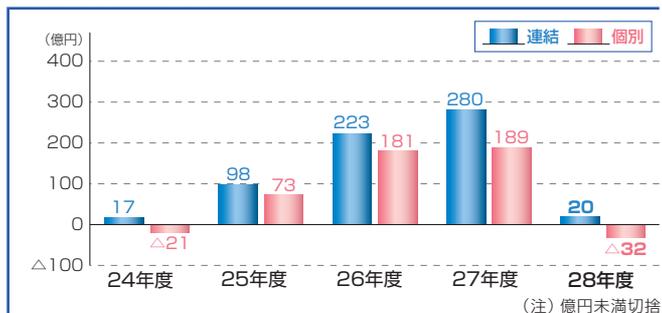
■販売の状況

当年度の小売販売電力量につきましては、電灯および業務用は、冬季の気温が前年より低かったことによる暖房需要の増加などから、前年度を上回りました。

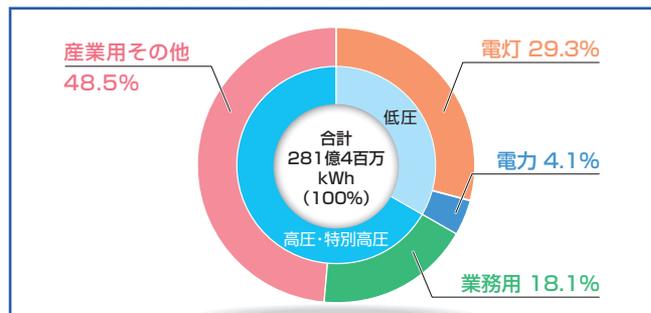
産業用その他は、機械が増加したことなどから、前年度を上回りました。

この結果、小売販売電力量は281億4百万キロワット時となり、前年度と比較しますと2.1%の増加となりました。

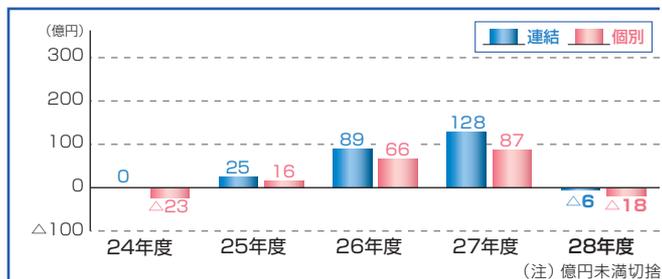
■経常利益の推移



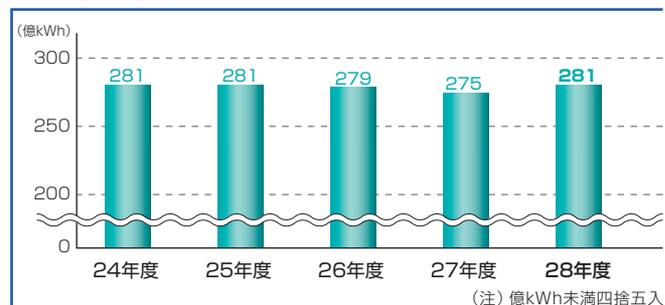
■当年度小売販売電力量の構成比



■当期純利益の推移



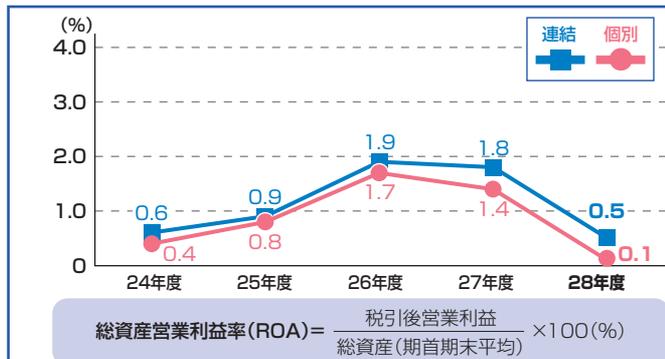
■小売販売電力量の推移



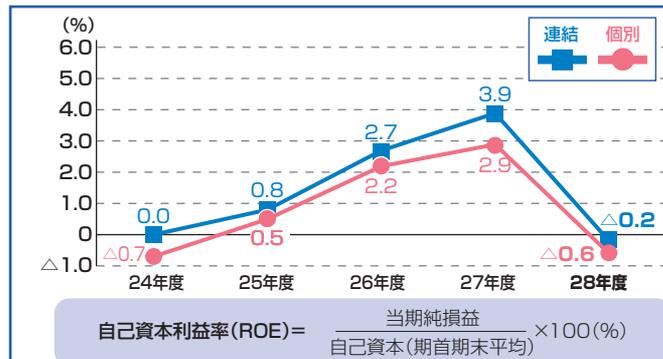
※連結は親会社株主に帰属する当期純利益

財務・株式データ

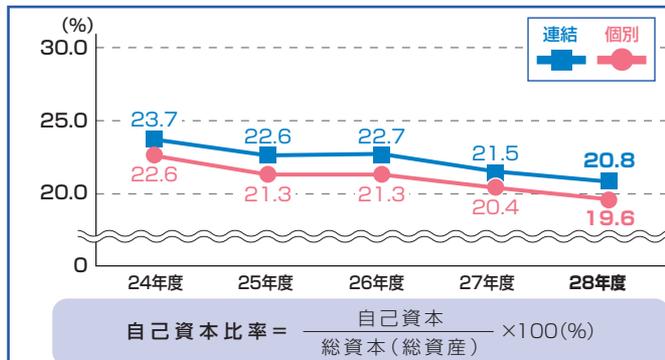
■総資産営業利益率(ROA)



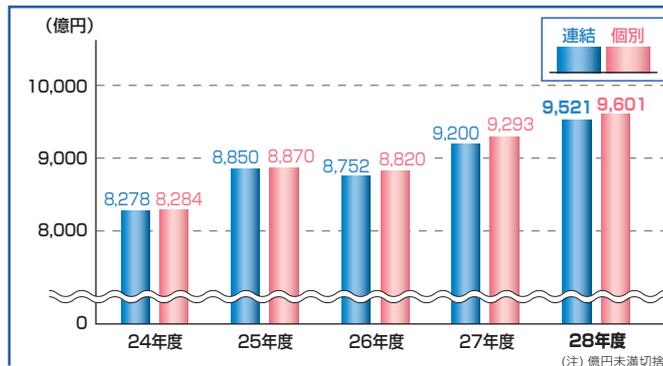
■自己資本利益率(ROE)



■自己資本比率



■有利子負債残高



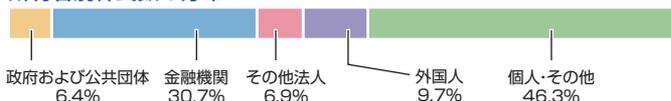
■株式の状況(平成29年3月31日現在)

発行済株式総数 …… 2億1,033万3,694株
株主数 …… 9万5,074名

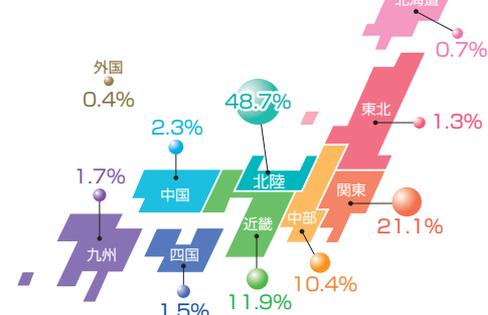
所有株式数別株主数の分布



所有者別株式数の分布



地域別株主数の分布



株主さま限定 当社施設見学会のご案内

見学先

- 志賀原子力発電所, アリス館志賀, 志賀太陽光, 福浦風力発電所等(石川県羽咋郡志賀町)
- 有峰ダム等(富山県富山市)

※見学の際には、バスの乗り降りや階段の昇り降りがありますのでご了承ください。

対象 株主さま

※ご家族の方は、株主さまとの同伴に限り1名参加できます。

参加費 無 料

※ご自宅から集合・解散場所までの往復交通費は、株主さまのご負担とさせていただきます。

見学コース

- 志賀原子力発電所, アリス館志賀, 志賀太陽光, 福浦風力発電所等

・志賀原子力発電所内はバスで敷地内を見学します。

・志賀原子力発電所内見学の際には、見学者ご本人が確認できる証明書(顔写真付公的身分証明書(運転免許証・パスポート)など)が必要です。当日、お持ちでない方は原子力発電所の見学ができません。ご理解とご協力をお願いします。

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
1	9月 5日(火)	富山駅	8時10分～17時20分	40名
2	9月 7日(木)	金沢駅	8時20分～16時20分	40名
3	9月14日(木)	福井駅	7時40分～17時40分	40名

- 有峰ダム等

コース番号	実施日	集合・解散場所	予定時間	募集人数
4	9月21日(木)	富山駅	8時40分～16時00分	25名
5	9月26日(火)	金沢駅	8時00分～16時50分	25名
6	9月28日(木)	福井駅	8時00分～17時50分	25名

※いずれのコースも上記の集合・解散場所以外での集合・解散はできませんのでご了承ください。

行程 集合場所 → 施設見学・昼食 → 解散場所

インターネットまたは郵便はがきでお申し込みください。

【インターネットの場合】

右記のQRコードもしくは北陸電力ホームページ(<http://www.rikuden.co.jp/kabukengaku/>)の応募フォームへ必要事項の入力をお願いいたします。



【郵便はがきの場合】

下記のとおり、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

郵便はがき		
62円 切手	930-8686	
総務部 株式チ ーム 行	北陸電力(株)	富山市牛島町15-1

- ①希望コース番号
(1コースのみ選択)
- ②株主さまのお名前
(ふりがな)
- ③株主番号
- ④郵便番号
- ⑤ご住所
- ⑥電話番号
- ⑦生年月日(和暦)
- ⑧性別

【同伴者ご希望の場合】

- ⑨同伴者の方のお名前
(ふりがな)
- ⑩郵便番号
- ⑪ご住所
- ⑫電話番号
- ⑬生年月日(和暦)
- ⑭性別

お申し込み方法

〈注意事項〉

- ・入力漏れ・記載漏れがないようお願いいたします。
- ・株主番号(9桁)は、本誌と同封の「配当金計算書」等に記載してあります。
- ・ひとつのコースにインターネットおよびはがきにて応募いただいた場合、インターネットによる応募を有効とし、はがきの応募は無効といたします。
- ・この募集により当社が取得する個人情報、本施設見学会の運営に利用し、その他の目的には利用いたしません。

- 締切 7月14日(金)の応募分まで
(はがきの場合は当日消印有効)

- 抽選 お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
なお、抽選の結果は8月18日(金)までに郵送でご案内いたします。

お問い合わせ先

北陸電力(株) 総務部株式チーム
TEL(076)441-2511<代表>
※8:40～17:20(土・日・祝日を除く)

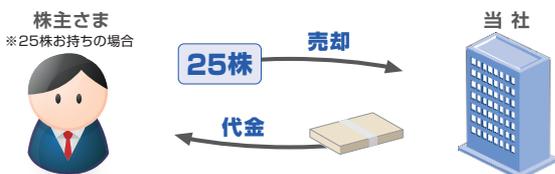
株主information

100株未満の株式をお持ちの株主さまへ

当社は100株を1単位としており、市場で売買したり、株主総会で議決権を行使したりするためには、100株単位にしていただく必要があります。このため、当社は以下の制度をご用意しております。

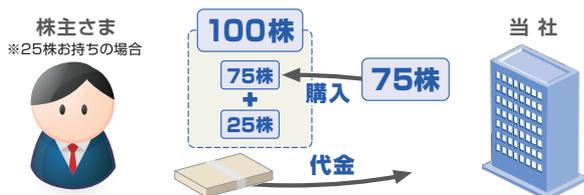
※証券会社の口座に単元未満株式をご所有の株主さまは、証券会社での手数料がかかる場合があります。

■単元未満株式の買取制度



株主さまがご所有の単元未満株式を処分したい場合、当社に単元未満株式を売却できる制度です。

■単元未満株式の買増制度



株主さまがご所有の単元未満株式を1単位(100株)にしたい場合、当社から単元未満株式を購入できる制度です。

株主
メモ

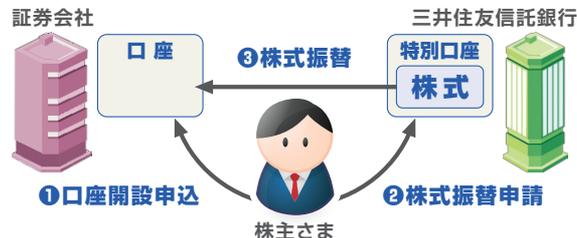
- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 配当金の受領株主確定日 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載して行います。
(<http://www.rikuden.co.jp/>)

証券会社に口座をお持ちでない株主さまへ

平成21年の株券電子化により、株主さまの権利は電子的に証券会社の口座で管理されることになりました。それまでに証券会社に口座をお持ちでない株主さまの株式につきましては、その権利を確保するために、当社は三井住友信託銀行に「特別口座」を開設して株式を管理しております。

この特別口座の株式につきましては、売買や譲渡(贈与など)ができません。(単元未満株式の買取・買増制度はご利用いただけます。)

このため、証券会社にご本人名義の口座を開設され、特別口座から株式の振替手続きをされることをおすすめいたします。



お手続きのお問い合わせ先

〈証券会社に口座をお持ちの株主さま〉

口座を開設された証券会社にお申し出ください

〈証券会社に口座を開設されていない株主さま(特別口座株主さま)〉

三井住友信託銀行 証券代行部にお申し出ください

☎ 0120-782-031

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 【郵便物ご送付先】〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 【ホームページ】<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>